



PRESS RELEASE
報道関係 各位

2021年10月1日
公益財団法人日本パラスポーツ協会

日本パラスポーツ協会への名称変更についての会長コメント

本日 2021 年 10 月 1 日、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会(JPSA)は、日本パラスポーツ協会に名称変更したことに対する会長のコメントを、下記のとおり発表致します。

記

コロナ禍での1年延期という逆境を乗り越え、東京2020パラリンピック競技大会でベストを尽くした選手たちの活躍が、多くの国民にパラリンピックの価値・魅力を伝え、多様性を尊重する共生社会への気づきを育んだことが世論調査にも示されました。

こうした東京パラリンピックのレガシーを継承し、障がい者スポーツの一層の普及振興をはかるために、「障がい者スポーツ」の名称を、既に社会で一般的に使用され、多くの人に親しまれている「パラスポーツ」に変更することにしました。
「パラスポーツ」の名称は、ボッチャ競技などのように障がいの有無に拘わらず誰もが一緒に楽しめるスポーツの普及を促進する上での相応しさもあります。

名称を変えても、目指すことは変わりません。日本パラスポーツ協会は、引き続き「パラスポーツの振興を通じた活力ある共生社会の実現」を目指し、3月に発表した「JPSA2030年ビジョン」に基づき諸施策を推進していきます。

公益財団法人日本パラスポーツ協会
会長 鳥原 光憲

< 本件に関するお問合せ先 >

公益財団法人日本パラスポーツ協会

企画広報部(広報担当):黒田、赤星

Mail:jpcjpsa-media@jsad.or.jp